



前立腺がんの治療法などについて解説する立木科長

治療法の長所と短所…

製鉄記念室蘭病院（前田征洋病院長）の「第35回市民公開がんセミナー」が14日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民らは患者数が増加する「前立腺がん」の治療法などに理解を深めた。

製鉄記念室蘭病院
前立腺がんセミナー

約40人が参加。同病院泌尿器科の立木仁科長が症状、がん確定に至るまでの検査、放射線や手術、抗がん剤による治療法などを解説。前立腺特異抗原（PSA）の血液検査は「早期発見に有効な検査」として、50歳以

上の男性は定期的に受ける必要性を説いた。

また、がんを増殖させてしまう男性ホルモンを抑えるために行う除勢術や、注射薬、内服薬の長所や短所を解説。男性ホルモン除去後、がんが再び増殖した際に用いる治療薬の新種類が、次々に出ている現状についても説明した。

同病院が今年6月、道内で初導入した「骨転移のある去勢抵抗性前立腺がん（CRPC）」の患者治療に有効な放射性医薬品「ゾーフィゴ」の効果などにも触れ、市民らは真剣に学んでいた。（松岡秀宣）